

## 令和3年度第2回佐渡市地域自立支援協議会 議事録

日時	令和4年2月28日(月) 新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため書面会議として実施しました		
議 題	議 題 (1) 令和3年度佐渡市地域自立支援協議会の各部会の作業報告について (2) 佐渡市地域自立支援協議会精神障がい部会の作業内容について (3) 佐渡市地域自立支援協議会療育支援部会からの要望書について (4) その他		
会議の 公開・ 非公開	公開		
参加者	(1) 医療機関を代表する者		
	・佐渡総合病院	医師	岡崎 実
	・真野みずほ病院	事務長	阿部 一也
	(2) 障害福祉サービス事業所を代表する者		
	・社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会	事務局長	細木 寅雄
	・社会福祉法人佐渡福祉会	理事長	弾正 俊一
	・社会福祉法人しあわせ福祉会	理事	中川 恭一
	・社会福祉法人とき福祉会	理事長	末武 正義
	・社会福祉法人佐渡国仲福祉会	理事長	本間 攻
	(3) 関係行政機関の職員		
	・新潟県佐渡地域振興局健康福祉環境部	部長	儀同 政宏
	・佐渡市教育委員会	教育長	新発田 靖
	(4) 市長が必要と認める者		
	・佐渡市手をつなぐ育成会	会長	佐藤美恵子
	・佐渡精神障害者家族会 佐渡よつば会	会長	山本紀美代
	・佐渡市民生委員児童委員協議会	理事	白井 榮一
	・佐渡連合商工会	理事	村川 一嘉
・佐渡市身体障がい者福祉協議会	会長	山城 一雄	
・佐渡公共職業安定所	所長	伊東 雅之	
・新潟県立佐渡特別支援学校	校長	水谷 武	
・佐渡市障がい者相談員	相談員	信田 恵子	
計17名			

専門部会 事務局	(相談支援部会)			
	・相談支援センター そらうみ	管理者	本間	奈美
	・こもれび	相談支援専門員	寺沢	正旭
	(知的・身体障がい部会)			
	・相談支援事業所 はまなすの家	相談支援専門員	原田	恭子
	・相談支援事業所 愛らんど	相談支援専門員	奥村	拓也
	(精神障がい部会)			
	・相談支援事業所さど	相談支援専門員	金子	奈津美
		相談支援専門員	中川	麻衣子
	(療育支援部会)			
・新潟県新星学園	園長	田代	健一	
	児童相談員	金子	徹巳	
(就労支援部会)				
・障がい者就業・生活支援センターあてび	管理者	石川	和順	
佐渡地域振興局健康福祉環境部	主査	武井	珠美	
			計10名	
事務局	・社会福祉課	課長	知本	政則
		課長補佐	兵庫	研司
		障がい福祉係長	海老	由紀
		同 精神保健福祉士	塚本	あすか
		同 社会福祉士	出崎	丈陽
				計5名
		※権利擁護部会、ひきこもり支援部会		事務局兼
資料	資料1. 令和3年度佐渡市地域自立支援協議会専門部会の作業報告 資料2. 佐渡市地域自立支援協議会精神障がい部会 作業内容 資料3. 佐渡市地域自立支援協議会療育支援部会 要望書			
協議内容	各議題に対する意見（回答11名）  (1) 令和3年度佐渡市地域自立支援協議会の専門部会作業報告について <意見> ・本協議会開催後に予定されている部会がある。スケジュール調整等の関係で難しいと思うが、できるだけ協議会開催前に部会を開き報告ができるよう計画的にお願いしたい。 ・知的・身体障がい部会、就労支援部会、精神障がい部会、ひきこもり支援部会、療育支援部会、相談支援部会、権利擁護部会、それぞれに研修、作業に取り組んでいることがわかった。研修は「伴走者」という視点が大事になってくると思われる。 ・未だコロナウイルス感染が収まらない状況ではあるが、身体及び精神障がい者への様々な行事・催事が中止となっている。(病院ではデイケア等)。何らかの工夫をして、コロナ禍でもできる体制づくりの検討が必要。当該者への対応はもちろんであるが、従事するスタッフの実体験の場が少なくなっている。			

<事務局>

頂戴したご意見を受け止め、各専門部会の協議の参考とさせていただきます。

(2) 佐渡市地域自立支援協議会精神障がい部会 作業内容について

<意見>

- ・真野みずほ病院の佐渡総合病院統合による減床を見据えて、地域移行等に対応する基幹相談の役割の強化が必要であると思う。また、高齢分野との連携等社会の変化への対応も必要であると思う。
- ・(医療について記載部分) 真野みずほ病院が、これまで通り必要な医療が受けられる⇒「その人に必要な医療を確実に受けられる」でよいと思う。  
各項目の内容のレベルがそろっていないように思う。
- ・障害者が地域への移行(在宅治療)をするにあたり、当事者の居場所づくり、日常生活の支援が重要となる。施設の拡大、充実を行うとともに、地域住民、関係者に、障害者と健常者はあまり変わらないとの認識を啓蒙、広げていくことが重要である。地域住民の理解と協力が重要である。

<事務局>

頂戴したご意見を参考に、引き続き部会において協議してまいります。

(3) 佐渡市地域自立支援協議会療育支援部会 要望書について

<意見>

- ・1の放課後等デイサービス事業所の拡充について特に強く希望します。
- ・島外に比べ、佐渡市において、児童・子どもに対する事業所が不足していることから、行政の支援が重要となる。また、関わるスタッフの数も十分とは言えない状況であるので、あわせて充実させていく必要がある。
- ・療育支援部会からの提案に、ぜひご協力お願いします。  
障害児者の家庭が安心できることが社会の安心につながります。特性をしっかりと理解することによって早期から上手に対応できます。  
ADHDならペアトレが有効です。薬もあります。自閉症なら環境調整、応用行動分析を使います。学習障害なら特別支援教育があります。  
早期発見して適切に対処することによって多くの精神疾患が予防できます。適応障害、うつ病、ひきこもりなど、発達障がいの二次障がいが減らせます。  
また、統合失調症にはオープンダイアログという対話療法も使えます。  
認知症にはユマニチュードがあります。  
具体的な技術によって、全島民の対応力を上げることができます。  
二次障害を減らすことで安心の共生社会が実現できます  
よろしく願いいたします。

(4) その他

(意見及び情報提供)

令和4年度応援していただきたい行事案内

1. アールブリュット展

期間 令和4年4月23日(土)～5月22日(日)

主催 新穂の歴史と民俗を考える会(愛称:新穂資料館友の会)

共催 佐渡アール・ブリュット

会場 新穂歴史民俗資料館展示室及び庭園等

内容 関係者の作品展及び関係イベント等

2. 新穂夕映え市(仮称)のリニューアル

期日 令和4年10月9日(日)か10日(月・祝日)

会場及び内容 検討中

事務局 新穂商工会(電話22-2166)

従来の行事・催事をコロナ禍によりリニューアルを検討している。福祉団体での個々の出店も難しくなると危惧される。「授産ネットワーク」でまとまって出店できるよう要請したらどうか。